

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成18年12月14日(2006.12.14)

【公開番号】特開2006-122340(P2006-122340A)
 【公開日】平成18年5月18日(2006.5.18)
 【年通号数】公開・登録公報2006-019
 【出願番号】特願2004-314526(P2004-314526)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月27日(2006.10.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の識別図柄を表示する識別図柄表示装置と、

前記識別図柄に関連する装飾図柄を表示する装飾図柄表示装置と、

遊技状態として、通常遊技状態および前記通常遊技状態よりも遊技者にとって有利な特定遊技状態を有し、所定の移行条件が満たされた際、前記通常遊技状態から前記特定遊技状態に遊技状態を移行させる遊技状態移行手段と、

所定の始動条件が満たされた際、前記識別図柄表示装置に表示された識別図柄を変動表示させ、その後停止させるとともに、前記所定の移行条件が満たされたときには、特定識別図柄を表示させる表示制御をする識別図柄表示制御手段と、

前記装飾図柄表示装置に表示される前記装飾図柄を表示制御する装飾図柄表示制御手段と、

を備える遊技機であって、

複数種類の装飾図柄を記憶する装飾図柄記憶手段と、

前記装飾図柄表示装置に停止表示される装飾表示図柄を、前記装飾図柄記憶手段に記憶された複数種類の装飾図柄の中から決定する装飾図柄決定手段と、

前記所定の移行条件が満たされた際に、前記装飾図柄表示装置に停止表示されている装飾図柄を停止表示されたままとするフリーズ演出を行うか否かを判断するフリーズ演出判断手段と、をさらに備え、

前記装飾図柄決定手段は、前記所定の移行条件が満たされた場合には、特定遊技状態への移行に対応する特定装飾図柄を決定し、前記所定の移行条件が満たされなかった場合には、前記特定装飾図柄以外の通常装飾図柄を決定し、

前記装飾図柄表示制御手段は、前記所定の始動条件が満たされた上で前記フリーズ演出判断手段によってフリーズ演出を行うと判断された場合には、前記所定の識別図柄の変動表示が行われている間、前記所定の識別図柄が変動表示を開始する前に停止表示されている装飾図柄を前記装飾図柄表示装置に停止表示されたままとし、

前記所定の始動条件が満たされた上で前記フリーズ演出判断手段によってフリーズ演出を行うと判断されなかった場合には、前記所定の識別図柄の変動表示が行われている間、前記装飾図柄を変動表示させ、前記装飾図柄決定手段によって決定された装飾図柄を前記

装飾図柄表示装置に停止表示させることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記装飾図柄表示制御手段は、前記フリーズ演出判断手段によってフリーズ演出を行うと判断され、前記装飾図柄を停止表示している場合には、前記特定遊技状態のときに前記装飾図柄表示装置に停止表示された前記通常装飾図柄を変動表示させ、前記特定装飾図柄に差し換える差換変動表示制御手段をさらに有する請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記特定遊技状態に移行した際に開閉制御される第一大入賞口および第二大入賞口と、前記第一大入賞口および前記第二大入賞口の開放制御を行う大入賞口開閉制御手段と、が設けられており、

前記装飾図柄記憶手段は、前記特定装飾図柄として、特定遊技状態終了後に通常遊技状態に移行する通常大当り図柄と、再度特定遊技状態に移行しやすい確変遊技状態に移行する確変大当り図柄とを記憶しており、

前記装飾図柄表示制御手段によって前記通常装飾図柄が停止表示されて前記大当り遊技状態に移行した場合、前記大入賞口開閉制御手段は前記第二大入賞口の開閉制御を行い、

その後の特定遊技状態中に前記大入賞口開閉制御手段が前記第一大入賞口の開閉制御を行う場合、前記差換変動表示制御手段は前記通常装飾図柄を前記確変大当り図柄に差し換える請求項 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決した本発明に係る遊技機は、所定の識別図柄を表示する識別図柄表示装置と、識別図柄に関連する装飾図柄を表示する装飾図柄表示装置と、遊技状態として、通常遊技状態および通常遊技状態よりも遊技者にとって有利な特定遊技状態を有し、所定の移行条件が満たされた際、通常遊技状態から特定遊技状態に遊技状態を移行させる遊技状態移行手段と、所定の始動条件が満たされた際、識別図柄表示装置に表示された識別図柄を変動表示させ、その後停止させるとともに、所定の移行条件が満たされたときには、特定識別図柄を表示させる表示制御をする識別図柄表示制御手段と、装飾図柄表示装置に表示される装飾図柄を表示制御する装飾図柄表示制御手段と、を備える遊技機であって、複数種類の装飾図柄を記憶する装飾図柄記憶手段と、装飾図柄表示装置に停止表示される装飾表示図柄を、装飾図柄記憶手段に記憶された複数種類の装飾図柄の中から決定する装飾図柄決定手段と、所定の移行条件が満たされた際に、装飾図柄表示装置に停止表示されている装飾図柄を停止表示されたままとするフリーズ演出を行うか否かを判断するフリーズ演出判断手段と、をさらに備え、装飾図柄決定手段は、所定の移行条件が満たされた場合には、特定遊技状態への移行に対応する特定装飾図柄を決定し、所定の移行条件が満たされなかった場合には、特定装飾図柄以外の通常装飾図柄を決定し、装飾図柄表示制御手段は、所定の始動条件が満たされた上でフリーズ演出判断手段によってフリーズ演出を行うと判断された場合には、所定の識別図柄の変動表示が行われている間、所定の識別図柄が変動表示を開始する前に停止表示されている装飾図柄を装飾図柄表示装置に停止表示されたままとし、所定の始動条件が満たされた上でフリーズ演出判断手段によってフリーズ演出を行うと判断されなかった場合には、所定の識別図柄の変動表示が行われている間、装飾図柄を変動表示させ、装飾図柄決定手段によって決定された装飾図柄を装飾図柄表示装置に停止表示させるものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明に係る遊技機においては、所定の移行条件が満たされた際にフリーズ演出を行うか否かを判断し、フリーズ演出を行うと判断された場合に、装飾図柄表示装置に停止表示されている装飾図柄を停止表示されたままとするフリーズ演出を行う。特定装飾図柄は、特定遊技状態（大当り遊技状態）に対応しているので、特定装飾図柄が表示されることにより、遊技者は、特定遊技状態に移行することを認識することができる。また、フリーズ演出が行われる場合には、装飾図柄表示装置に停止表示されている装飾図柄を停止表示されたままであり、特定装飾図柄以外の通常装飾図柄（はずれ装飾図柄）が停止表示されている。通常装飾図柄は、特定遊技状態に対応するものではないので、通常は、通常装飾図柄が表示されたとしても特定遊技状態に移行してはいない。ところが、フリーズ演出を行うと判断された場合には、停止表示されている通常装飾図柄を持って特定遊技状態に移行する。したがって、装飾図柄として特定装飾図柄が表示されない場合であっても、遊技者に対する特定遊技状態への移行の期待感を維持させ、もって大きい興味を与えることができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

ここで、装飾図柄表示制御手段は、装飾図柄表示制御手段は、フリーズ演出判断手段によってフリーズ演出を行うと判断され、装飾図柄を停止表示している場合には、特定遊技状態のときに装飾図柄表示装置に停止表示された通常装飾図柄を変動表示させ、特定装飾図柄に差し換える差換変動表示制御手段をさらに有する態様とすることができる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

フリーズ演出判断手段によってフリーズ演出を行うと判断され、装飾図柄を停止表示している場合、遊技者は、本当に特定遊技状態に移行したことを確認し難い状態にある。そこで、特定遊技状態時に、装飾図柄表示装置に表示された通常装飾図柄（はずれ装飾図柄）を変動表示させ、特定装飾図柄（大当り装飾図柄）に差し換える。このように、装飾図柄表示装置に表示された装飾図柄を差し換えることにより、遊技者は、本当に特定遊技状態に移行したことを再確認することができる。

また、特定遊技状態に移行した際に開閉制御される第一大入賞口および第二大入賞口と、第一大入賞口および第二大入賞口の開放制御を行う大入賞口開閉制御手段と、が設けられており、装飾図柄記憶手段は、特定装飾図柄として、特定遊技状態終了後に通常遊技状態に移行する通常大当り図柄と、再度特定遊技状態に移行しやすい確変遊技状態に移行する確変大当り図柄とを記憶しており、装飾図柄表示制御手段によって通常装飾図柄が停止表示されて大当り遊技状態に移行した場合、大入賞口開閉制御手段は第二大入賞口の開閉制御を行い、その後の特定遊技状態中に大入賞口開閉制御手段が第一大入賞口の開閉制御を行う場合、差換変動表示制御手段は通常装飾図柄を確変大当り図柄に差し換える態様とすることもできる。